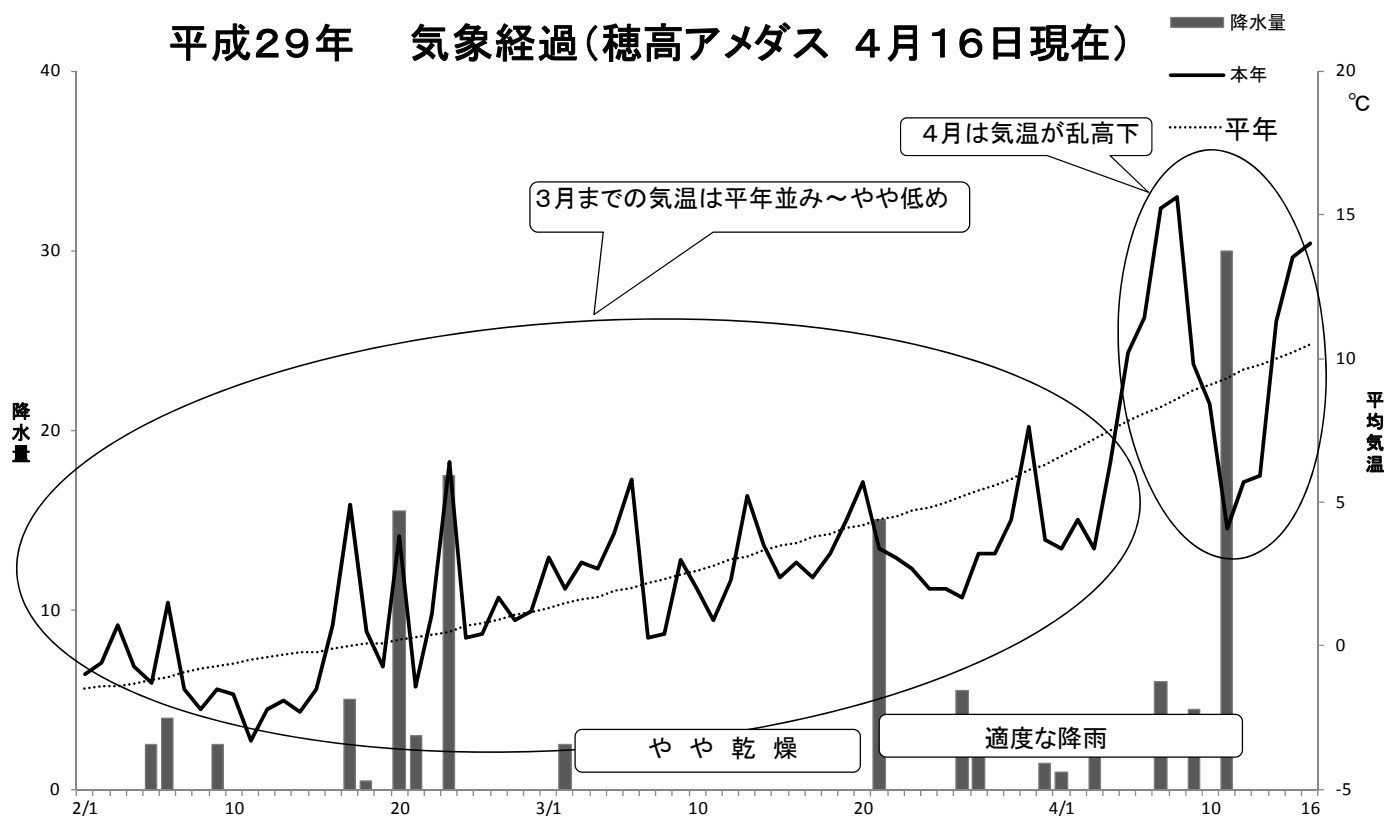


平成29年 作物技術普及情報 第4号

(麦の生育状況、2回目の追肥、水稻育苗管理について)



1 気象状況

- ・ 越冬後3月までの気温は平年並み~やや低めに推移しましたが、4月になって最低気温が氷点下になる日と最高気温が20°Cを超える日が交互に出現し、気温は乱高下しています。
- ・ 今後、天気予報には十分注意し、高温・低温対策の徹底をお願いします。

2 麦の生育状況と2回目（止葉展開期）の追肥について

(1) 麦の生育状況

気温が平年並み～やや低めで推移したため、播種時期によって生育量に大きな差が見られます。昨年10月中に播種された圃場は生育量は旺盛ですが、播種が11月以降の圃場は、播種時期が遅いほど生育量が少ない傾向にあります。

生育進度は現時点で、ほぼ平年並みであると思われます（昨年はこの時点で平年より5～9日進んでいました）。但し、今後の気温変動によっては、生育進度が速まることもありますのでご注意ください。

障害を受けていない場合は、以下の生育状況と推定されます。

10月中旬～	播種	→生育過剰気味（畦間が見えない状態）
10月下旬～	播種	→生育は「良」
11月上旬～	播種	→生育は「やや良」
11月中旬～	播種	→生育は「茎数やや少」
11月下旬～	播種	→生育は「茎数少」

4月15日現在、島内品種試験ほ場（11月4日播種）の幼穂長・止葉抽出状況は次のとおりです。

大麦	ファイバースノウ	13～19mm、止葉の1枚下の葉抽出中	（昨年45mm 止葉展開期）
	シュンライ	22～30mm、止葉抽出始め	（昨年 止葉展開期）
小麦	シラネコムギ	3mm	（昨年13～14mm）
	しゅんよう	3mm	（昨年15mm）
	ゆめきらり	4mm	（昨年15～24mm）
	ゆめかおり	6～10mm	（昨年45mm 止葉抽出始～中）

また4月14～15日現在、現地の生育良好な圃場の幼穂長・止葉抽出状況は次のとおりです。

有明	しゅんよう	4mm	（昨年7mm 止葉の1枚下の葉抽出始）
北穂高	シラネコムギ	1.5mm	（昨年4～5mm）
	ファイバースノウ	9mm	（昨年止葉抽出中 葉耳間長 -2～+7cm）
穂高	ファイバースノウ	11mm 止葉の2枚下の葉抽出始	（昨年 止葉展開期直前）
南穂高	ゆめきらり	5mm	（昨年18～24mm 止葉の1枚下の葉 抽出中）
豊科	ゆめきらり	3～4mm	（昨年7mm 止葉の1枚下の葉 抽出始）
堀金	しゅんよう	2～3mm	（昨年15～17mm 止葉の1枚下の葉 抽出中）
三郷	ゆめきらり	3～4mm	（昨年20～22mm 止葉 抽出始）
梓	ゆめきらり	5～6mm	（昨年15～21mm 止葉 抽出始）
和田	ユメセイキ	2～3mm	（昨年13～17mm 止葉 抽出始）
神林	ホワイトファイバー	14～15mm 止葉の1枚下の葉抽出中	（昨年シュンライ 止葉展開期～出穂始）
	ユメセイキ	2mm	（昨年17～18mm 止葉 抽出始）
笹賀	ホワイトファイバー	15～16mm 止葉の1枚下の葉抽出始	（昨年シュンライ 止葉展開期）
寿	ゆめかおり	2～3mm	（昨年22～23mm 止葉抽出始）

中山	ゆめかおり	4mm	(昨年 16~28mm 止葉抽出始)
山辺	ゆめかおり	11~12mm	(昨年 45~52mm 止葉抽出中)
岡田	ゆめかおり	5~6mm	(昨年 30~35mm 止葉抽出中)

以上から、生育良好な圃場の生育ステージは

大麦 幼穂長 10~20mm前後 止葉の1枚下の葉抽出中
 小麦 幼穂長 2~6mm前後
 (ゆめかおり 2~12mm前後)

と推定されます。

4月上旬~中旬、気温は乱高下しておりますが、生育進捗は大麦、小麦ともに平年並み(昨年より大麦で8~9日遅く、小麦で5~6日程度遅い)と思われます。

このままの生育進捗なら、大麦で4月23日頃から、小麦で4月30日頃から出穂が始まると思われます。

(2) 2回目の追肥時期

- 大麦及び小麦(ゆめきらり、シラネコムギ、しゅんよう、ユメセイキ)は、必ず止葉展開期を確認してから追肥をお願いします。

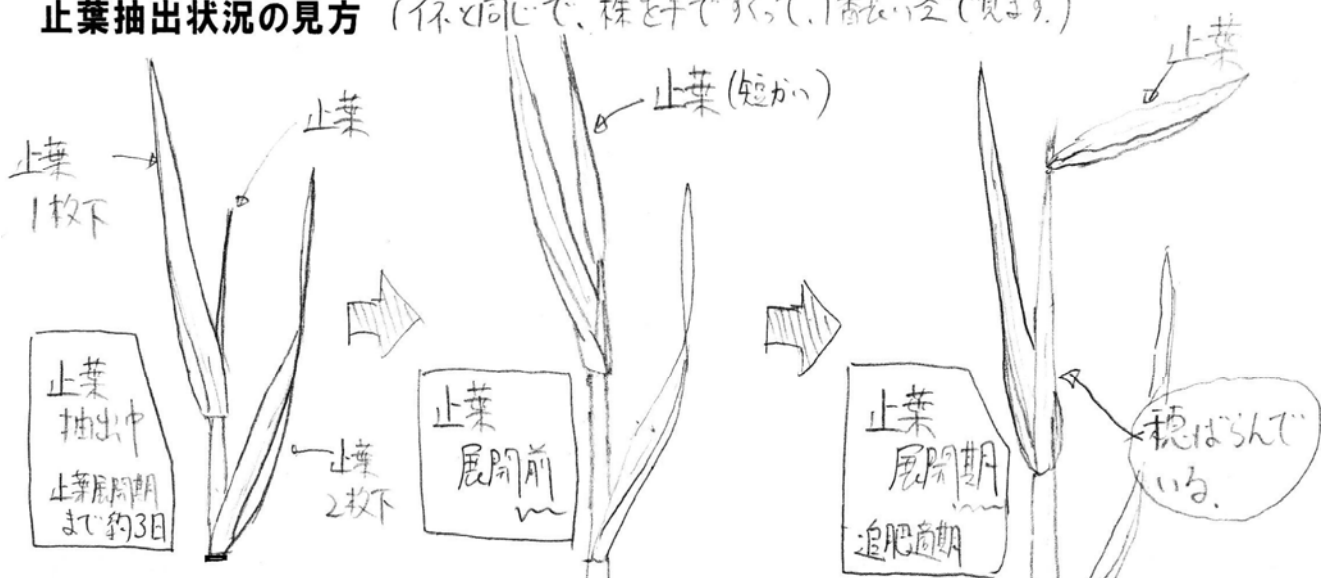
止葉展開期は概ね前回(技術情報3号)の予想どおり迎えそうです。

★大麦: 4月20日前後、

★小麦: シラネコムギ、ゆめきらり、しゅんよう、ユメセイキ
 4月27日前後から止葉展開期を迎えると思われま

- パン用小麦(ゆめかおり)は、5月の連休中頃から出穂すると思われま
- すので、出穂状況を確認してから、出穂期~穂揃い期に追肥をお願いします。

止葉抽出状況の見方 (イネと同じで、株を手でずって、一番長い茎で見ます)



(3) 2回目の追肥量

播種時期によって生育差があります。ほ場の生育状況に合わせた追肥量でお願いします。

追肥量の基準

★大麦及び小麦（ゆめきらり、シラネコムギ、しゅんよう、ユメセイキ）
窒素成分で2kg/10a前後（硫安なら、10kg前後/10a）

★パン用小麦（ゆめかおり）
窒素成分で4kg前後/10a（硫安なら、20kg前後/10a）

【重要】・・・圃場の生育にあわせた追肥をお願いします・・・

★以下は大麦・小麦（ゆめきらり、シラネコムギ、しゅんよう、ユメセイキ）の場合★

生育が悪いほ場（播種遅れ、湿害、凍上害等による）

- 少なめ追肥 窒素成分で1kg/10a ⇒ 穂数少ないが登熟向上
- × 必要以上の追肥 ⇒ 大麦：硬質粒の発生、小麦：粉色・製麺性の低下

生育が良いほ場

- 多め追肥 窒素成分で2kg/10a ⇒ 穂数多く、しかも登熟向上
（ただし、生育量が旺盛で葉色が薄い場合は、窒素成分で更に多めに3kg/10a）
- × 追肥未実施 ⇒ 充実不足による小粒化、タンパク質量低下

縞萎縮病の発生したほ場

明らかに生育が少ない場合	少なめ追肥
圃場に緑色が戻って生育は概ね回復した場合	標準

【注意】

- ★ 基肥に一施肥二鳥や、一回目の追肥に麦追肥1発肥料を使用した場合は、2回目の止葉展開期追肥は不要です。
- ★ 倒伏をまねくので、極端な早期追肥は避けてください。
- ★ 大麦の場合、適期を逃すと硬質麦（硝子率が増加）となり、品質ランクを落とします。
- ★ 小麦の場合、適期を逃したり無追肥にすると低タンパクになり、品質ランクを落とします。無追肥は絶対に避けてください。
- ★ 適期に散布しても、土壌が乾燥していると効きませんので、降雨が期待できない場合は、灌水とセットで実施してください。
- ★ 暖かい天气が続くと、思ったより生育が進む場合があるので、必ず止葉の抽出状況や出穂状況を確認して追肥をお願いします。

2 水稲の育苗管理

寒暖の差が激しいことが予想されるため、ムレ苗や苗立枯病等の発生が懸念されます。天気予報に十分注意し、適温管理の徹底をお願いします。

特に霜注意報が出た朝は晴天になることが多く、急激にハウスやトンネル内が高温になるので、日の出とともに換気を行うようご指導ください。

またハウスのビニールや保温資材を新品にした場合は、温度が上がりやすいので特にご注意ください。